



2027年3月期 第1四半期決算

2026年7月30日
株式会社オリエンタルランド

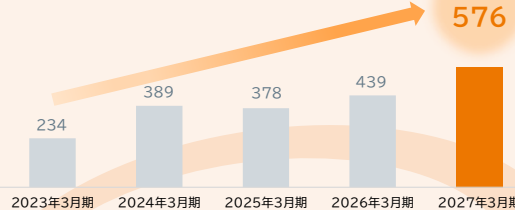
I. 決算概要

II. 第2四半期(中間期)および通期の業績見通し

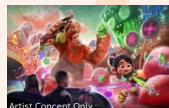
I . 決算概要

東京ディズニーシー®25周年イベントの好調などにより、
連結営業キャッシュ・フロー*1、売上高、営業利益は、過去最高

第1四半期連結営業キャッシュ・フロー(億円)



キャッシュを成長投資に優先的に配分しつつ、株主還元を含め、
企業価値向上に向けた対応を着実に実行



Artist Concept Only
『シュガー・ラッシュ』の世界を
舞台としたアトラクション



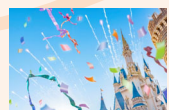
ディズニー・クルーズライン・ジャパン^{※2}



キャストなどの人的資本

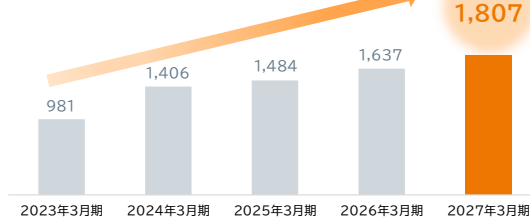


Artist Concept Only
スペース・マウンテンと周辺エリアの一新

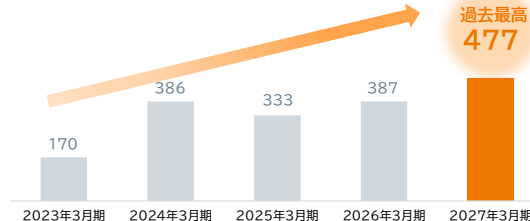


東京ディズニーリゾート®45周年

第1四半期連結売上高(億円)



第1四半期連結営業利益(億円)



*1 営業キャッシュ・フロー＝親会社株主に帰属する四半期純利益＋減価償却費
*2 写真はディズニー・クルーズラインの「ディズニー・ウィッシュ」

As to Disney Properties ©Disney

4

当四半期実績 (経年同期比較)

当四半期の業績の推移は、ご覧のとおりです。
東京ディズニーシー25周年イベントの好調などにより、
連結営業キャッシュ・フロー、売上高、営業利益は、過去最高となりました。

今後も、キャッシュを成長投資に優先的に配分することで、
株主還元を含め、企業価値向上に向けた対応を、着実に行っていきます。

クルーズ事業も、
2028年度の就航に向けた準備が本格化し、
着実に進捗させています。

成長投資を通じて、これまでにない新たな体験を創出し、
当社の成長を加速させていきます。

入園者数およびゲスト1人当たり売上高の増などにより、増収増益

(億円)

連結損益計算書	2026/3 第1四半期実績	2027/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,637	1,807	169	10.4%
テーマパーク事業	1,312	1,474	161	12.3%
ホテル事業	285	292	7	2.7%
その他の事業	39	40	0	1.8%
営業利益	387	477	89	23.1%
テーマパーク事業	292	378	85	29.3%
ホテル事業	91	92	0	0.9%
その他の事業	1	5	3	192.2%
営業外収益	14	122*	107	727.9%
営業外費用	9	16	6	62.6%
経常利益	392	583	190	48.6%
税金等調整前四半期純利益	392	583	190	48.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	274	412	138	50.3%

* ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄に対する出資案件で、ホテルの売却を行ったことなどにより営業外収益は122億円となりました。

当四半期実績（前年同期比較）

当四半期実績は、ご覧の通りです。

前年同期と比較して、

入園者数およびゲスト1人当たり売上高の増などにより、増収増益となりました。

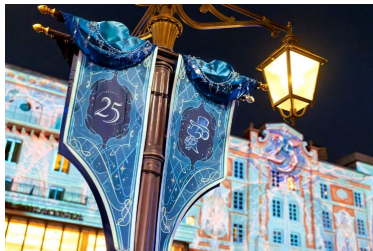
**テーマパーク事業
売上高**

入園者数およびゲスト1人当たり売上高の各収入が増加したことから増収。
ゲスト1人当たり売上高は過去最高

	2026/3 第1四半期実績	2027/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	1,312	1,474	161	12.3%

入園者数の増

ー 東京ディズニーシー25周年イベントによる増



東京ディズニーシー25周年「スパークリング・ジュビリー」

ゲスト1人当たり売上高の増

- ・ アトラクション・ショー収入は若干上回った
- ー ディズニー・プレミアアクセスの増
- ・ 商品販売収入は上回った
- ー 東京ディズニーシー25周年関連商品販売の増
- ・ 飲食販売収入は上回った
- ー 東京ディズニーシー25周年関連メニュー・
フードスーベニア販売の増



ジュビリーバッグ&リボン

As to Disney Properties ©Disney

6

当四半期実績（前年同期比較）－ 主な増減要因

セグメント別の実績と、増減要因をご説明します。

テーマパーク事業の売上高は、161億円増の1,474億円となりました。

入園者数は、
東京ディズニーシー25周年イベントによる増などにより、増加しました。

ゲスト1人当たり売上高は、各収入において過去最高となりました。
アトラクション・ショー収入は、
ディズニー・プレミアアクセスの増などにより、若干上回りました。

商品販売収入は、
東京ディズニーシー25周年関連商品の増などにより、上回りました。

飲食販売収入は、
東京ディズニーシー25周年関連メニューやフードスーベニアの増などにより、上回りました。

**テーマパーク事業
営業利益**
諸経費や人件費が増加したものの、売上高の増などにより増益

	2026/3 第1四半期実績	2027/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	1,312	1,474	161	12.3%
営業利益(億円)	292	378	85	29.3%

(億円)

営業利益の増

売上高の増	
商品・飲食原価率の減	6
人件費の増	△ 8

諸経費の増	△ 12
東京ディズニーシー25周年イベント 関連費用の増	△ 6
エンターテインメント関連費用の増	△ 4
その他	△ 1
減価償却費の減	2
既存資産償却進行による減など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

7

当四半期実績（前年同期比較）－ 主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、
85億円増の、378億円となりました。

商品・飲食原価率は、
飲食原価率が、
価格改定や、売上構成の変化などにより減少し、
全体として減少しました。

人件費は、
人数増や賃金改定などにより、増加しました。

諸経費は、
東京ディズニーシー25周年イベント関連費用の増や、
エンターテインメント関連費用の増などにより、増加しました。

ホテル事業

宿泊収入の増などにより増収増益、売上高および営業利益は過去最高

	2026/3 第1四半期実績	2027/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	285	292	7	2.7%
ディズニーホテル	261	270	9	3.7%
客室稼働率(%、pt)	94.0	95.2	1.2	
平均客室単価(円)	66,534	67,036	502	0.8%
その他ホテル	24	22	△1	△7.8%
営業利益(億円)	91	92	0	0.9%

売上高の増

- ・客室単価の増

営業利益はほぼ同様

- ・売上高の増
- ・諸経費の増

当四半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

ホテル事業は、
客室単価の増などにより、
売上高は、7億円増の292億円となり、過去最高となりました。

当四半期のディズニーホテルにおける客室稼働率は、
1.2ポイント増の95.2%、
平均客室単価は、
502円増の67,036円でした。

営業利益は、
東京ディズニーシー25周年イベントの、
デコレーション費用による、諸経費の増などがあったものの、
売上高の増などにより、92億円となり、
こちらも過去最高となりました。

9ページをご覧ください。

その他の事業

その他の事業は増収増益

	2026/3 第1四半期実績	2027/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	39	40	0	1.8%
営業利益(億円)	1	5	3	192.2%

売上高の増

- ・ イクスピアリ事業の増
- ・ モノレール事業の増
- ・ 事業再編による減

営業利益の増

- ・ 諸経費の減

当四半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

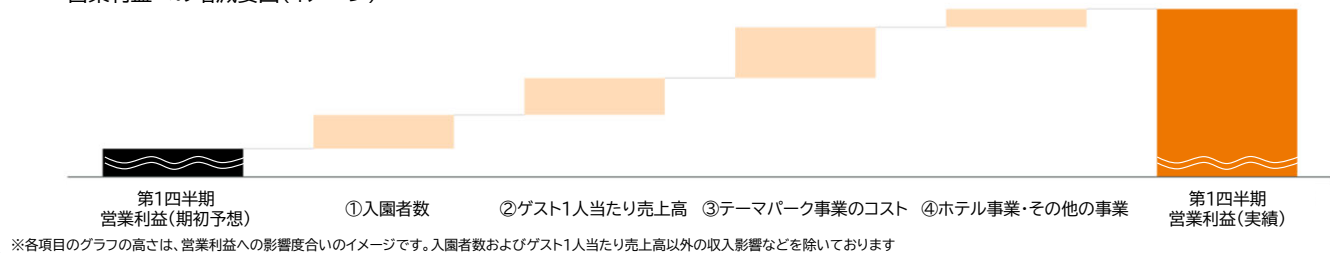
その他の事業は、
売上高は、
事業再編による減があったものの、イクスピアリ事業の増などにより、
増加しました。

営業利益は、
諸経費の減などにより、
3億円増の5億円となりました。

ゲスト1人当たり売上高の増や入園者数の増などにより、
売上高および営業利益は期初予想を上回った

	営業利益への影響(期初予想との比較)	主な増減要因
①入園者数	上回った	ー 東京ディズニーシー25周年イベントによる増
②ゲスト1人当たり売上高	上回った	・ アトラクション・ショー収入: ほぼ同様 ・ 商品販売収入: 上回った - ー 東京ディズニーシー25周年関連商品販売の増 ・ 飲食販売収入: 上回った - ー 東京ディズニーシー25周年関連メニュー・フードスーベニア販売の増
③テーマパーク事業のコスト	上回った	- ー 諸経費の減 - ー 商品・飲食原価率の減 - ー 人件費の減
④ホテル事業・その他の事業	上回った	ー ホテル事業における客室単価の増

■ 営業利益への増減要因(イメージ)



当四半期実績（期初予想比較）－ 主な増減要因

業績予想と比較すると、
ゲスト1人当たり売上高の増や、入園者数の増などにより、
売上高および営業利益は、上回りました。

入園者数は、
東京ディズニーシー25周年イベントによる増などにより、上回りました。

ゲスト1人当たり売上高は、
東京ディズニーシー25周年関連商品の増などによる、商品販売収入の増や、
東京ディズニーシー25周年関連メニューやフードスーベニアの増などによる、
飲食販売収入の増により、上回りました。

テーマパーク事業のコストは、
諸経費の第2四半期以降への時期ずれによる減や、
商品・飲食原価率の減などにより減少し、
営業利益は、上回りました。

Ⅱ. 第2四半期(中間期)および 通期の業績見通し

現時点では第2四半期(中間期)および通期の業績予想を据え置く

2027年3月期第2四半期(中間期)および通期業績予想について

東京ディズニーシー25周年イベントの好調などにより、当四半期は業績予想と比較して増収増益ではあったものの、天候などによる影響は不透明であるため、現時点では第2四半期(中間期)および通期の業績予想は据え置きとする。



東京ディズニーシー25周年イベント



サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort

As to Disney Properties ©Disney

12

第2四半期(中間期)および通期の業績見通し

当四半期は、東京ディズニーシー25周年イベントの好調などにより、売上高および営業利益は業績予想と比較して上回ったものの、天候リスクなどを踏まえ、現時点では上半期および通期の業績予想を据え置きます。

東京ディズニーシー25周年イベントに加えて、7月2日から「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」が開始しており、ゲストにご好評いただいています。

第2四半期以降も、施策を着実に実施することで、引き続き、業績向上に努めてまいります。

第2四半期以降はディズニーホテルにおける大規模な修繕工事などを予定しているものの、引き続き様々な施策を実施することで、業績への寄与を目指す

■ 当期の施策例

テーマパーク事業	入園者数	- 東京ディズニーシー25周年イベント*1(実施中) 「ジュビリーブルー」のテーマカラーで統一した様々なコンテンツを展開 - 夏期の施策*2(一部実施中) - スペシャルイベント「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」の開催 - 多様な券種の販売:アフター3 サマーパスポート・アフター5 サマーパスポートの夜間券、1デーパークホッパーパスポート、学生限定のカレッジパスポート(2026年9月1日～9月30日)
	ゲスト1人当たり売上高	- パークチケット:価格帯構成比の変更に加え、高価格帯チケットを追加(2026年10月10日～) - ディズニー・プレミアアクセス:対象施設の追加(2026年9月1日～)や一部対象パレードの価格を改定(2026年9月16日～)
ホテル事業		- 東京ディズニーリゾート45周年に向けた、一部ディズニーホテルにおける客室修繕工事の実施 - 東京ディズニーセレブレーションホテル®:2026年7月1日～2027年3月31日 - 東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ®:2026年8月19日～2027年7月20日 - 東京ディズニーランド®ホテル:2027年1月4日～2027年3月14日
■ 今後に向けた取り組み		
コストコントロール		- 予算管理体制を抜本的に見直し、コストの優先順位をつけることで、メリハリのある予算配分を行う - その時々状況を予算策定に反映し、計画通りに実行できる体制の構築を目指していく →今後アップデート内容を開示予定

*1 詳細はAppendixのP.18をご参照ください *2 詳細はAppendixのP.19をご参照ください

13

第2四半期(中間期)および通期の業績見通し

当期は第2四半期より、一部ディズニーホテルにおいて、大規模な客室修繕工事を順次実施することなどから、一時的に減益となる見込みではあるものの、様々な施策を実行することで、引き続き、業績への寄与を目指していきます。

例えば、パークチケットについては、価格帯構成比の変更に加え、高価格帯チケットを追加することにしました。

ディズニー・プレミアアクセスにおいても、対象施設の拡大や、価格の改定を行う予定です。

今後に向けた取り組みとして、コストコントロールについては、予算管理体制を抜本的に見直し、コストの優先順位をつけることで、メリハリのある予算配分を行っていきます。また、その時々状況を反映した予算の策定を行うことで、計画通りに実行できる体制の構築を進めていきます。

引き続き、コストコントロールに向けた検討を行い、今後アップデートした内容をご説明します。

将来の成長に向けて様々な施策を実行し、収益向上を実現することで、成長投資の原資となるキャッシュの創出に努めていきます。

私たちが目指すテーマパークの姿は、「世の中の想像を超える、ハピネス創造の最高峰」です。今後もゲストの多様なニーズに対応し、サービスの魅力向上に取り組むことで、唯一無二の価値を創出してまいります。

Appendix

2027年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド®	★ 2025/12/27~2026/6/28 イツ・ア・スモールワールド with グレート						◆ 9/30~ NEW The D-Groovationz4 Live: Happy! Funky! Groovy! Tour					
	★ 4/23~6/30 「スター・ツアーズ: ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」 特別バージョン			★ 7/2~9/14 NEW 「ファンタイム・ウィズ・トイ・ストーリー5」		★ 9/16~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」		★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」				
	★ 4/9~6/30 「ディズニー・パルパルーザ」第6弾 「ヴァネロベのスウィーツ・ポップ・ワールド」			★ 7/2~9/14 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」						★ 1/1~1/11 お正月のスペシャルイベント		
				★ 7/2~9/14 NEW 「Reach for the Stars: Everlasting Dreams」								
東京ディズニーシー	★ 2026/4/15~2027/3/31 NEW 「東京ディズニーシー25周年 “スパークリング・ジュビリー”」											
	★ 4/15~6/30 「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」											
				★ 7/2~9/14 NEW 「ファンタイム・ウィズ・トイ・ストーリー5」		★ 9/16~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」		★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」				
				★ 7/2~9/14 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」		★ 9/16~11/2 「ラロス・デ・ラ・ファミリア」				★ 1/1~1/11 お正月のスペシャルイベント		

※イベントの名称、開催期間は変更になる場合があります。※2026年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

★ スペシャルイベント・プログラム ◆ 新規アトラクション・ショーなど

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーランド アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーランド エンターテインメント	導入日	価格
美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年5月19日	¥2,500*1	ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年4月15日	¥2,500
スプラッシュ・マウンテン	2022年12月1日	¥1,500	東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年4月15日	¥2,500
ベイマックスのハッピーライド	2022年12月1日	¥1,500	Reach for the Stars*3	2024年9月20日*4	¥2,500
ビッグサンダー・マウンテン	2026年9月1日(予定)	¥1,500	ミッキーのマジカルミュージックワールド	2024年11月13日	¥2,500
プーさんのハニーハント	2026年9月1日(予定)	¥1,500	ディズニー・パルパルーザ イツ・ア・スウィーツフルタイム！	終了 2026年4月9日*5	¥2,500
モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク！”	2026年9月1日(予定)	¥1,000	ザ・ヴィランズ・ハロウィーン “Into the Frenzy”	2026年9月16日*6 (予定)	¥3,500
ホーンテッドマンション“ホリデーナイトメアー”	2026年9月15日*2 (予定)	¥1,000	The D-Groovationz4 Live: Happy! Funky! Groovy! Tour	2026年9月30日 (予定)	¥2,500

※2026年8月21日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2026年9月1日からの価格です。

*2 2026年9月15日～2027年1月7日の間、対象です。

*3 2026年7月2日～9月14日の間、「Reach for the Stars: Everlasting Dreams」として実施しています。

*4 2026年9月14日で終了予定です。

*5 2026年4月9日～6月30日の間、対象でした。

*6 2026年9月16日～10月31日の間、対象です。

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーシー アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーシー エンターテイメント	導入日	価格
ソアリン：ファンタスティック・フライト	2022年5月19日	¥2,500 ^{*1}	ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～	2022年11月11日	¥2,500
トイ・ストーリー・マニア！	2022年6月10日	¥2,000	ドリームス・テイク・フライト	2025年7月16日	¥2,500
タワー・オブ・テラー	2022年12月9日	¥1,500	ダンス・ザ・グローブ！	2026年1月14日 ^{*3}	¥2,500
センター・オブ・ジ・アース	2022年12月9日	¥2,000 ^{*1}			
アナとエルサのフローズンジャーニー	2024年6月6日	¥2,500 ^{*1}			
ラプンツェルのランタンフェスティバル	2024年6月6日	¥2,000			
ピーターパンのネバーランドアドベンチャー	2024年6月6日	¥2,000			
レイジングスピリッツ	2026年9月1日(予定)	¥1,500			
インディ・ジョーンズ・アドベンチャー： クリスタルスカルの魔宮 ^{*2}	2026年11月30日(予定)	¥1,500			

※2026年8月21日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2026年9月1日からの価格です。

*2 2026年11月30日から再開予定です。

*3 2026年1月14日～2027年3月31日の間、対象です。

東京ディズニーシー25周年イベントの施策一例

エンターテインメントプログラム



スパークリング・ジュビリー・セレブレーション

スペシャルグッズ



ジュビリーブルーメモリーズ

スペシャルメニュー



スペシャルメニュー

デコレーション/環境演出



東京ディズニーシー・アクアスフィア前のデコレーション



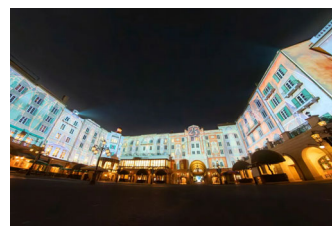
ダンス・ザ・グローブ!



ジュビリーバッジ



フードスーベニア



スパークリング・ジュビリー・ナイト

As to Disney Properties ©Disney

夏期における施策一例

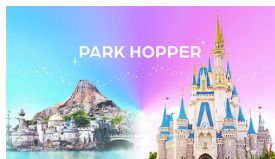
夏期限定チケット



アフター3 サマーパスポート、
アフター5 サマーパスポート



カレッジパスポート*



1デーパークホッパーパスポート

* 2026年9月1日～9月30日の間、販売します。

夏期限定コンテンツの拡充



Reach for the Stars: Everlasting
Dreams (東京ディズニーランド)



“びしょ濡れ”ハーパスplash
(東京ディズニーシー)



夏のひんやりメニュー



ガジェットのゴーコースター“びしょ濡れ”
バージョン(東京ディズニーランド)

快適な過ごし方の周知



夏の東京ディズニーリゾートを
快適に満喫しよう！

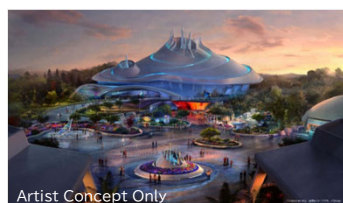


暑さ対策ガイド
(WebサイトやSNS上で掲示)

As to Disney Properties ©Disney

連続的な成長投資の手を緩めず、掲げている目標を達成する

成長投資・コンテンツの一例



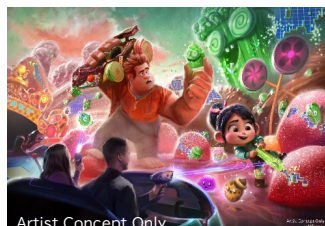
Artist Concept Only
スペース・マウンテンと周辺エリアの一新



東京ディズニーリゾート45周年



東京ディズニーシー25周年イベント



Artist Concept Only
『シュガー・ラッシュ』の世界を
舞台としたアトラクション



ディズニー・クルーズライン・ジャパン
(2028年度に就航を開始し、2029年度には通年稼働)
※写真はディズニー・クルーズラインの「ディズニー・ウィッシュ」

As to Disney Properties ©Disney

20



ディズニー・クルーズライン・ジャパン※

クルーズ事業に参入する意義

OLCグループの
新たな収益の柱の獲得

収益性の高い
ビジネスモデル

土地の制約を
受けない拡張性

舞浜一極集中
リスクの回避

天候に左右されにくい
事業モデル

国外からの
人材雇用

提供サービス(予定)

- ・ 船上や船内で繰り広げられるディズニーならではのアクティビティやエンターテインメント
- ・ 様々なグレード・タイプの客室やバリエーションに富んだダイニング
- ・ ホスピタリティ溢れるサービス など

就航予定年	2028年度	投資額	船体 2,900億円 / 予備費 400億円 ※為替は165円/ユーロ、155円/ドル想定
船籍	日本(予定)	客船	2022年に就航した客船(ディズニー・ウィッシュ)をベースに一部を日本向けにアレンジ
総トン数	約14万トン	客室数	約1,250室
乗客定員	約4,000人	乗組員	約1,500人

現時点での就航プラン(予定)

発着港	東京国際クルーズターミナル
航海日数	2～4泊程度
単価	10～30万円台*(1航海当たり1名)の幅広い価格帯 *最も多い客室タイプの価格
ターゲット	ファミリー、若者層、訪日外国人旅行者

業績への貢献

- ・ 就航数年後には、年間売上高は約1,000億円、年間乗客数約40万人を目指す
- ・ 通年稼働する2029年度から黒字を想定
- ・ 売上高のアップサイドを精査しており、営業利益率は、就航数年後には20%台後半を目指す
- ・ 減価償却費は年間で200億円レベルを想定
- ・ 利益率は、船体の償却期間終了後に一段向上する見込み
- ・ 為替リスク抑制のため、半分程度の金額については為替予約を実施

1隻目を着実に成功させた上で、2隻目の就航も検討

※写真はディズニー・クルーズラインの「ディズニー・ウィッシュ」

As to Disney Properties ©Disney

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス
 (「東京ディズニーリゾート40周年記念プライオリティパス」は、2026年8月31日で終了予定)

東京ディズニーランド アトラクション	東京ディズニーシー アトラクション
スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー	インディ・ジョーンズ・アドベンチャー:クリスタルスカルの魔宮
ビッグサンダー・マウンテン	海底2万マイル
プーさんのハニーハント	タートルトーク
ホーンテッドマンション	ニモ&フレンズ・シーライダー
モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク!”	マジックランプシアター
	レイジングスピリッツ

※2026年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

(億円)					
連結貸借対照表	前期末	当四半期末	増減		
A.資産の部				【A.資産の部 66億円の減(0.4%減)】	
流動資産	6,752	6,402	△ 349	I. 流動資産 349億円の減	
固定資産	9,538	9,821	282	(1)現金及び預金の減	△413 億円
資産合計	16,290	16,223	△ 66	(2)有価証券の増	49 億円
B.負債の部				II. 固定資産 282億円の増	
流動負債	2,063	1,698	△ 365	(1)設備投資による増	362 億円
固定負債	3,226	3,244	17	(2)投資有価証券・その他の増	85 億円
負債合計	5,290	4,942	△ 348	(3)減価償却による減	△163 億円
C.純資産の部				【B.負債の部 348億円の減(6.6%減)】	
株主資本	10,626	10,911	284	I. 流動負債 365億円の減	
その他の包括利益累計額	373	369	△ 3	(1)未払法人税等の減	△177 億円
純資産合計	11,000	11,281	281	(2)その他(主に未払金)の減	△106 億円
負債純資産合計	16,290	16,223	△ 66	II. 固定負債 17億円の増	
				(1)その他(主に繰延税金負債)の増	18 億円
				【C.純資産の部 281億円の増(2.6%増)】	
				I. 株主資本 284億円の増	
				(1)利益剰余金の増	281 億円
				・親会社株主に帰属する四半期純利益による増	412 億円
				・配当による減	△131 億円
				II. その他の包括利益累計額 3億円の減	
				(1)繰延ヘッジ損益の減	△2 億円
				(2)退職給付に係る調整累計額の減	△1 億円



株式会社オリエンタルランド コーポレートコミュニケーション部IRグループ
www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おください。

テーマパーク入園者数、ゲスト1人当たり売上高については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。